

多久市都市計画マスタープラン



佐賀県多久市



ごあいさつ



都市計画マスタープランは、市全体および地域ごとの将来像や将来の土地利用などを明らかにするとともに、まちづくりに関する方針を定め、自治体における都市計画の総合的な指針としての役割を果たすものです。

多久市では、平成16年3月に「多久市都市計画マスタープラン」を策定し、計画的なまちづくりに取り組んできました。

その後、社会情勢は大きく変化し、人口減少・超高齢社会の進行への対応、移住・定住の促進を通じた賑わいあるまちづくりの推進、企業誘致や地域産業の振興による活力あふれるまちづくりの推進など、対応すべき課題もめまぐるしく変化してきています。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う新しい生活様式への対応、ICTやIoTの活用等によるSociety5.0や、国連が掲げる「誰一人取り残さない」をめざすSDGsなどの新しい時代潮流に対応した都市づくりを進めていくことが必要となっています。

そこで、多久市では、現在の都市における問題に対応しつつ、新たな都市の将来像を定めるために、このたび、都市計画マスタープランを改定しました。

今回の都市計画マスタープランでは、令和3年度からの概ね20年間を想定し、その間の多久市のあるべき姿について定めることとしています。まちづくりに関しては、その“核”となるのは「住民」、すなわち市民の皆様です。人の暮らしを良くし、人の安心を高める取り組みを「住民」の皆様との協働のもとに推進していくことが重要と考えます。

都市計画マスタープランを指針として、今後、「住民」一人ひとりの皆様との協働のもと、「交流と定住を支える みんなで創る安全で緑豊かなまちづくり」に向けた取り組みや活動が、それぞれの地域で生まれていくことを切に希望するところです。

最後になりますが、都市計画マスタープラン策定に、ご協力・ご尽力いただきました市民の皆様や関係各位の方々に深く感謝申し上げます。

令和3年3月

多久市長

横尾 俊彦



| | |
|----------------------------|-----------|
| 序章 はじめに | 1 |
| 1 策定の背景と目的 | 1 |
| 2 計画の対象区域 | 2 |
| 3 計画の期間 | 2 |
| 4 計画の構成 | 2 |
| 第1章 都市の現状と課題 | 3 |
| 1 本市の概況 | 3 |
| 2 本市を取り巻く社会・経済動向 | 4 |
| 3 土地利用の状況 | 8 |
| 4 道路・交通の状況 | 11 |
| 5 その他の都市施設の状況 | 15 |
| 6 地域資源の状況 | 17 |
| 7 防災・減災の取り組みの現状 | 18 |
| 8 市民のまちづくりに対する評価 | 20 |
| 9 課題 | 22 |
| 第2章 まちづくりの理念と基本方針 | 24 |
| 1 まちづくりの理念と目標 | 24 |
| 2 基本方針 | 25 |
| 3 人口の将来展望 | 26 |
| 第3章 将来都市構造 | 27 |
| 1 都市構造とは | 27 |
| 2 将来都市構造 | 29 |
| 第4章 分野別まちづくり方針 | 34 |
| 1 土地利用の方針 | 34 |
| 2 都市施設整備の方針 | 40 |
| 3 自然環境保全の方針 | 47 |
| 4 景観形成の方針 | 48 |
| 5 安心・安全まちづくりの方針 | 50 |
| 第5章 地域別構想 | 52 |
| 1 地域別構想の考え方 | 52 |
| 2 東多久地域 | 53 |
| 3 南多久地域 | 59 |
| 4 多久地域 | 64 |
| 5 西多久地域 | 69 |
| 6 北多久地域 | 74 |
| 第6章 まちづくりの実現化方策 | 80 |
| 1 まちづくりの推進に向けた基本的な考え方 | 80 |
| 2 まちづくりに関わる主体の役割 | 81 |
| 3 まちづくりの実現に向けた施策 | 82 |
| 4 都市計画マスタープランの進行管理・見直しの考え方 | 83 |
| 参考資料 | 84 |
| 1 策定体制 | 84 |
| 2 策定経過 | 86 |
| 用語集 | 87 |
| 1 多久市都市計画マスタープラン 用語集 | 87 |

序章 はじめに

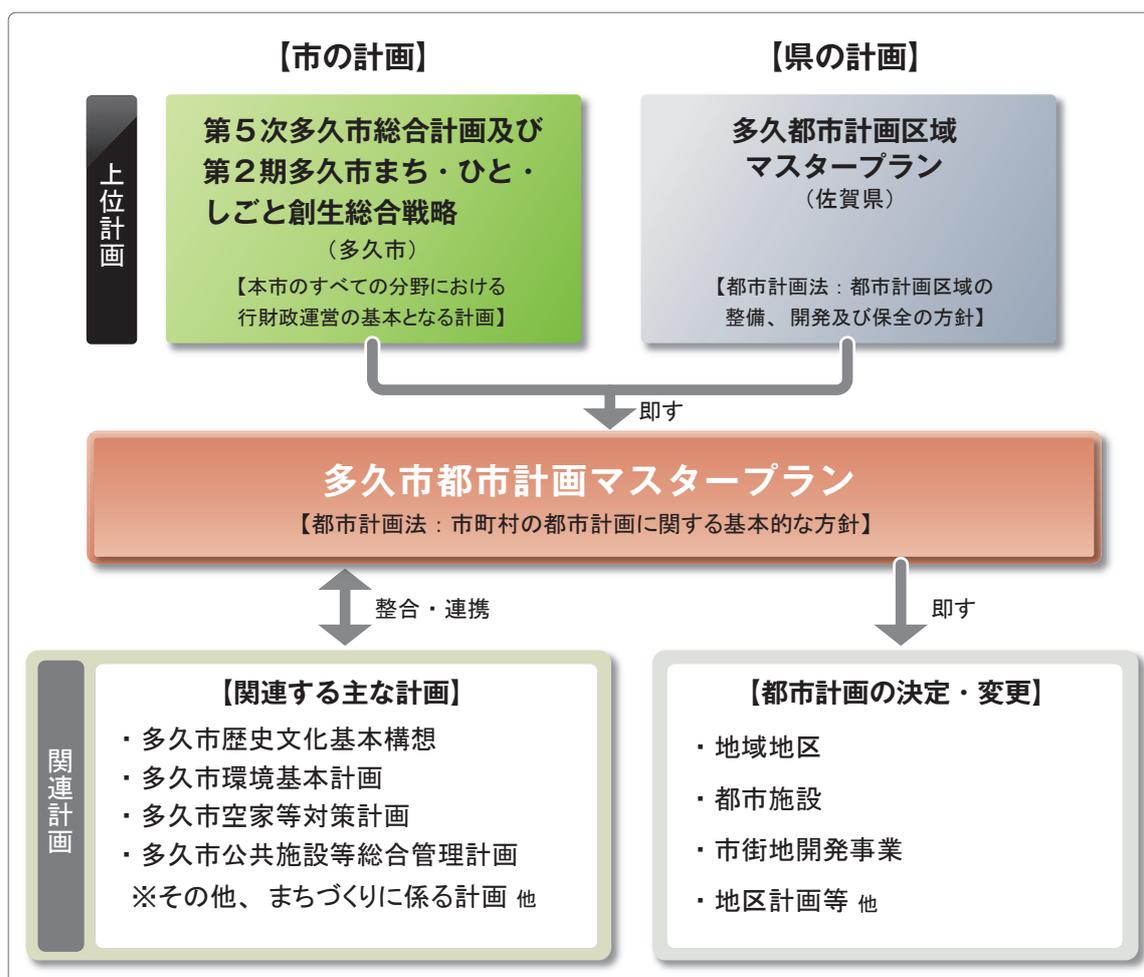
1 策定の背景と目的

多久市（以下、「本市」という。）では平成16年（2004年）3月に都市計画法第18条の2に規定される「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として「多久市都市計画マスタープラン」を策定し、令和2年度（2020年度）までを目標年次として計画的なまちづくりに取り組んできました。しかし、計画策定時より社会情勢は大きく変化してきており、今後、予想される人口減少・高齢化の急激な進行・財政の縮減など対応すべき課題も目まぐるしく変化しています。

そこで、本市では、現在の都市における問題に対応しつつ新たな都市の将来像へ向けた方針を定めるため、都市計画マスタープランを改定することとしました。

「多久市都市計画マスタープラン」（以下、「本計画」という。）は、第5次多久市総合計画や多久都市計画区域マスタープランを踏まえて、中長期的視点から将来の都市像や都市づくりの方向性を示すものです。

都市計画マスタープランは、個別の細かな計画や事業の内容を決めるものではありませんが、今後、定める都市計画は本計画に即して定めることとなります。



図：多久市都市計画マスタープランと上位関連計画との関連性

序章 はじめに

第1章 都市の現状と課題

第2章 まちづくりの理念と基本方針

第3章 将来都市構造

第4章 分野別まちづくり方針

第5章 地域別構想

第6章 まちづくりの実現化方策

参考資料

2 計画の対象区域

本計画の対象区域は、本市としての一体性を持った都市づくりを進めていくため、本市全域（都市計画区域外を含む）とします。

3 計画の期間

令和3年度(2021年度)からの概ね20年間を計画期間とします(※)。ただし、都市計画に関する情勢や市民ニーズなどの変化を受けて、必要が生じた際は適宜・適切な見直しを行うこととします。

4 計画の構成

本計画は、本市の現況やまちづくりの課題を整理した「本市の概況と課題」、それを踏まえて、まちづくりの理念や基本方針、将来都市構造を設定した「基本構想」、土地利用・都市施設・市街地整備・自然環境保全・景観形成・防災減災等の分野別に都市計画の基本的な方針を定めた「分野別まちづくり方針」、市域を5つの地域にわけ、地域別のまちづくりについて設定した「地域別構想」、実施にあたっての視点や評価システムをまとめた「実現化方策」によって構成されます。

1 本市の概況と課題

- 本市の概況
- 社会・経済動向
- 土地利用、道路・交通、その他の都市施設の状況
- まちづくりの課題 等

2 基本構想

- まちづくりの理念
- まちづくりの基本方針
- 将来都市構造

3 分野別まちづくり方針

4 地域別構想

5 実現化方策

図：本市都市計画マスタープランの構成

※ 市の都市計画マスタープランは、県の都市計画区域マスタープランに即するとされており、都市計画区域マスタープランの計画期間は、国の『都市計画運用指針』において「概ね20年」と明記されていることから、都市計画マスタープランの計画期間についても「概ね20年」とするのが一般的とされています。